

横浜駅西口に相鉄ビルがあり、公募により「ジョイナス」と名付けられているそうです。

その屋上には、「ジョイナスの森・彫刻公園」があり、飯島正久先生は此处を愛しておられました。ビル建設に携わったのは、港キリスト教会信徒岡幸男さんです。相鉄本社の建設部長から常務・専務・副社長となり、飯島牧師の働きを支援された方です。岡さんの夢は二つです。「私の長年の夢は、一度先生のお話を、私の周辺の実業家たちに聞いてもらいたい。そして主のお許しがあれば、横浜駅西口で聖書教室が開かれるようになればこれが私の夢です。」

この夢は、二つながらに適えられます。まったく思いがけない神様の御配慮がありました。

1985（昭和60）年8月19日、午前11時より、ジョイナス7階玉姫殿の一室に、30名余の実業家が多忙の中集まり、聖書の話を行いました。講演題は、『ジョイナスの人生観』でした。

話が始められます。「学生時代、私は三溪園に近いほうに住んでおりました、そこから日吉の慶應義塾に通学しておりました。その頃、横浜駅は東口だけ・・・それが今日では、この西口が世界一の繁栄を誇る大繁華街に生まれ変わりました。」

「ジョイナスと言う名は、たいへんに良い名です。・・・ジョイとは喜び joy です。この喜びをお分ちしたいのです。いらっしゃいませんか。一緒にどうぞ、と言って双手を上げ、胸を開いて呼びかける言葉が、ジョイン・アス join us なのです。」

そして、まことの喜びの源泉イエス・キリストから喜びを分与される時、虚業家ではなく、まことの実業家となります。「利益（喜び）を社会に還元しようという幻、本当の意味における資本主義の精神がなくて、ただ我が一個の利益〈喜び〉を追求するのみに終始してしまうからです。」